

課題番号 : 27指1405
研究課題名 : 政策医療を担う医療機関の多施設ネットワーク形成とその活用による高効果・高効率な看護職員教育システムの開発－看護職員の能力向上による政策医療分野の看護均てん化推進に向けて－
主任研究者名 : 亀岡智美
分担研究者名 : 飯野京子・小澤三枝子
研究協力者名 : 水野正之・上國料美香・剣物祐子・木村弘江・原田久美子・大柴福子・田村やよひ
キーワード : 看護継続教育、教育システム、医療の均てん化、政策医療、多施設ネットワーク

研究成果 :

I. 研究目的

本研究は、政策医療を担う医療機関（国立高度専門医療研究センター（NC）・国立病院機構（NHO）・国立ハンセン病療養所（NHDS））が、看護職員の能力向上のための多施設ネットワークを形成するとともに、医療政策の牽引拠点である NCGM の擁す国立看護大学校（NCN）研修部が、その活用促進の中核となる高効果、高効率な看護職員教育システムを開発することを目的とする。平成 28 年度は、この目的達成に向け、平成 27 年度に収集したデータを分析し、その成果を公表するとともに、NC・NHO・NHDS が看護職員の能力向上のための多施設ネットワークを形成し、NCN 研修部がその活用促進の中核となる高効果、高効率な看護職員教育システムを検討することをめざした。

II. 平成 28 年度の研究活動と成果

平成 27 年度に NC・NHO・NHDS の看護部長、看護師長、看護部教育委員から収集したデータを分析し、看護職員教育の現状や課題を多角的に明らかにするとともに、論文発表（1 件）、学会における研究発表（6 件）を行い、その成果を公表した。詳細は、次の通りである。①亀岡智美他. 政策医療を担う医療機関における看護部教育委員会の現状－組織運営と提供している研修に焦点を当てて－. 国立看護大学校紀要 16(1): 1-9, 2017. ②亀岡智美他. 看護職員を対象とする院内教育担当者の学習ニーズの現状－政策医療を担う医療機関に焦点を当てて－. 第 70 回国立病院総合医学会, 沖縄, 11 月, 2016. ③上國料美香他. 看護職員を対象とする院内教育担当者の教育ニーズの現状－政策医療を担う医療機関に焦点を当てて－. 第 70 回国立病院総合医学会, 沖縄, 11 月, 2016. ④亀岡智美他. 政策医療を担う医療機関における看護部教育委員会委員の学習ニーズに関係する特性. 第 14 回国立病院看護研究学会, 熊本, 12 月, 2016. ⑤飯野京子他. 看護職員教育として活用したい院外研修への要望－政策医療を担う医療機関の看護部長への調査を通して－. 第 70 回国立病院総合医学会, 沖縄, 11 月, 2016. ⑥小澤三枝子他. 認定看護管理者資格取得に向けた学習に対する看護師長の意識－政策医療を担う医療機関に焦点をあてて－. 第 70 回国立病院総合医学会, 沖縄, 11 月, 2016. ⑦水野正之他. 看護師長の学習ニーズの現状－政策医療を担う医療機関に焦点を当てて－. 第 70 回国立病院総合医学会, 沖縄, 11 月, 2016.

また、一連の調査結果に基づき、次の 3 種類の活動を行った。①NC・NHO・NHDS の多施設ネットワークの形成方法の検討、②それを活用した効果的・高効率な看護職員のための研修プログラムの検討と研修プログラム実施に向けた関係者との調整、③NCN 研修部が NC・NHO・NHDS の看護部教育委員を対象に提供する効果的・高効率な研修のあり方の検討。

III. 今後の課題

最終年度である平成 29 年度は、次の通り活動し、当初の研究目的を達成する。①平成 28 年度の検討結果に基づく教育プログラム等を NCN 研修部において展開し、受講者を対象とする調査を通し、その有効性を評価する。②平成 28 年度の検討結果に基づく看護師長対象教育プログラム実現に向け、多施設間の連携検討とネットワーク形成を進める。③平成 28 年度に検討した看護部教育委員対象研修を NCN 研修部において実施し、受講者を対象とする調査を通し、その有効性を評価する。④平成 29 年度までの成果に基づき、教育システムの機能実現、NC・NHO・NHDS における看護職員対象教育の充実に向けた効果的なネットワーク形成、連携・協働、協力に役立つハンドブックを作成する。⑤平成 29 年度までの成果の平成 30 年度の看護系学術集会や専門誌における発表を準備する。

Subject No. : 27 指 1405
Title : Development of a highly effective and efficient continuing education system for nurses by creating and implementing multi-medical institution network: Towards the promotion of equal-access quality nursing care in policy-based medical services based on nursing staff development
Researchers : Tomomi Kameoka, Keiko Iino, Mieko Ozawa
Key words : continuing education in nursing, education system, policy-based medical services, multi-medical institution network, promoting equal-access to quality nursing care
Abstract :

I. Aim

The aim was to develop a highly effective and efficient continuing education system for nurses (CES) who work at the hospitals of National Research Centers for Advanced and Specialized Medical Care (NC), National Hospital Organization (NHO), and National Hansen's Disease Sanatoria (NHDS). The resulting CES will have two features: (1) It will include a multi-medical institution network, consisting of the hospitals of NC, NHO, and NHDS, and promote cooperation for nursing staff development in each hospital; (2) The 'Training Center for Nursing Development' of the National College of Nursing Japan (NCN) will act as the base of the CES.

In 2016, in order to achieve the aim, the findings from 2015 research activities were introduced at two conferences and published in a journal, and the approach to construct a highly effective and efficient CES was discussed based on the research findings in 2015.

II. Research activities and achievements in 2016

Six poster presentations at two conferences (70th Annual Meeting of Japanese Society of National Medical Services, and 14th Annual Meeting of Japanese Society of Nursing Science for National Health Services) were conducted to introduce the findings generated by 2015 research activities, and an article was published in the Journal of Nursing Studies National College of Nursing, Japan.

Furthermore, based on the research findings in 2015, three types of research activities were conducted: (1) Discussing the approach to build a network of NC, NHO, and NHDS to facilitate continuing education for nurses; (2) Discussing the programs to develop a highly effective and efficient CES with the persons concerned; (3) Discussing the seminar for hospital nurse educators in NC, NHO, and NHDS provided by the Training Center for Nursing Development of NCN.

III. Plan for 2017

The following three activities are planned to achieve the aim of the research: (1) Evaluate the utility of the programs to develop a highly effective and efficient CES through active research; (2) Promote development of the network of NC, NHO, and NHDS to facilitate continuing education for nurses; (3) Evaluate the utility of the seminar for hospital nurse educators in NC, NHO, and NHDS provided by the Training Center for Nursing Development of NCN through active research.

政策医療を担う医療機関の多施設ネットワーク形成とその活用による

高効果・高効率な看護職員教育システムの開発

－看護職員の能力向上による政策医療分野の看護均てん化推進に向けて－

亀岡智美⁽¹⁾ 飯野京子⁽²⁾ 小澤三枝子⁽²⁾ 田村やよひ⁽³⁾ 水野正之⁽³⁾ 上國料美香⁽³⁾ 劔物祐子⁽³⁾ 木村弘江⁽³⁾ 原田久美子⁽³⁾ 大柴福子⁽³⁾

(1)主任研究者 (2)分担研究者 (3)研究協力者

キーワード：看護継続教育、教育システム、医療の均てん化、政策医療、多施設ネットワーク

研究目的

政策医療を担う医療機関（国立高度専門医療研究センター（NC）・国立病院機構（NHO）・国立ハンセン病療養所（NHDS））が、看護職員の能力向上のための多施設ネットワークを形成し、医療政策の牽引拠点であるNCGMの擁す国立看護大学校（NCN）研修部が、その活用促進の中核となる高効果、高効率な看護職員教育システムを開発する。

平成28年度の研究活動と成果

① 平成27年度にNC・NHO・NHDSの看護部長、看護師長、看護部教育委員から収集したデータの分析による看護職員教育の現状や課題の多角的解明



② 成果（看護職員教育の現状や課題）の公表

論文発表（1件）…表1
学会発表（6件）…表2



① NC・NHO・NHDSの多施設ネットワークの形成方法の検討

② それを活用した効果的・高効率な看護職員のための研修プログラムの検討と研修プログラム実施に向けた関係者との調整

③ NCN研修部がNC・NHO・NHDSの看護部教育委員を対象に提供する効果的・高効率な研修のあり方の検討。

表1 論文発表

論文タイトル	著者	掲載誌	掲載号	年月
政策医療を担う医療機関における看護部教育委員会の現状－組織運営と提供している研修に焦点を当てて－	亀岡智美 上國料美香 飯野京子 他	国立看護大学校研究紀要	第14巻 第1号	2017年3月

表2 学会発表

タイトル	発表者	学会名	場所	年月
看護職員を対象とする院内教育担当者の学習ニーズの現状 －政策医療を担う医療機関に焦点を当てて－	亀岡智美 上國料美香 大柴福子 他	第70回国立病院総合医学会	沖縄	2016年11月
看護職員を対象とする院内教育担当者の教育ニーズの現状 －政策医療を担う医療機関に焦点を当てて－	上國料美香 亀岡智美 大柴福子 他	第70回国立病院総合医学会	沖縄	2016年11月
看護職員教育として活用したい院外研修への要望 －政策医療を担う医療機関の看護部長への調査を通して－	飯野京子 劔物祐子 木村弘江 他	第70回国立病院総合医学会	沖縄	2016年11月
認定看護管理者資格取得に向けた学習に対する看護師長の意識 －政策医療を担う医療機関に焦点をあてて－	小澤三枝子 水野正之 木村弘江 他	第70回国立病院総合医学会	沖縄	2016年11月
看護師長の学習ニーズの現状 －政策医療を担う医療機関に焦点を当てて－	水野正之 小澤三枝子 原田久美子 他	第70回国立病院総合医学会	沖縄	2016年11月
政策医療を担う医療機関における看護部教育委員会の学習ニーズ に関する特性	亀岡智美 上國料美香 大柴福子 他	第14回国立病院看護研究会 学会 学術集会	熊本	2016年12月

今後の課題

- 平成28年度の検討結果に基づく教育プログラム等をNCN研修部において展開し、受講者を対象とする調査を通し、その有効性を評価する。
- 平成28年度の検討結果に基づく看護師長対象教育プログラム実現に向け、多施設間の連携検討とネットワーク形成を進める。
- 平成28年度に検討した看護部教育委員対象研修をNCN研修部において実施し、受講者を対象とする調査を通し、その有効性を評価する。
- 平成29年度までの成果に基づき、教育システムの機能実現、NC・NHO・NHDSにおける看護職員対象教育の充実に向けた効果的なネットワーク形成、連携・協働、協力に役立つハンドブックを作成する。
- 平成29年度までの成果の平成30年度の看護系学術集会や専門誌における発表を準備する。

課題番号 : 27指1405
研究課題名 : 政策医療分野の看護の均てん化のためのNCN研修部による多施設ネットワークを活用した効果的な看護職員現任教育システムの構築 ―現状分析とモデル事業の展開―
主任研究者名 : 亀岡智美
分担研究者名 : 飯野京子
研究協力者名 : 小澤三枝子・田村やよひ・水野正之・上國料美香・劔物祐子・木村弘江・原田久美子・大柴福子
キーワード : 看護継続教育、教育システム、医療の均てん化、政策医療、多施設ネットワーク

研究成果 :

I. 研究目的

看護部長が感じている看護職員の教育上の課題、その克服に向けた意見・要望を解明する。その結果に基づき、NC・NHO・NHDSにおける看護職員教育の現状や課題を多角的に把握する。

II. 平成 27 年度の研究活動と成果

研究方法：郵送法による無記名自記式質問紙調査であり、調査用紙は、研究グループで開発し、内容妥当性を検証した。調査は国立国際医療研究センター倫理委員会の承認を経て、政策医療を担う 164 施設に研究協力を依頼、同意を得られた 131 施設の看護部長を対象に調査票を配布した。

調査内容：

対象属性（施設の所在地・政策医療において担っている役割・病床数・看護職員数・看護部の教育委員の選定方法および基準）、看護職員の教育上の課題（有無と課題解決のための工夫）、院外の研修事業として活用したい短期研修に関すること（テーマ・方法・対象・開催期間・時期）、活用したい長期研修について、本学研修部への参加の有無とその理由、研修費用。

回答形式は、択一式、記述式を含めた方法とした。

研究期間：平成 25 年 8 月～ 現在継続中

結果：回収率は 113 名 (86. 3%) であり、有効回答数は 110 名 (84. 0%) であった。

対象者の所属施設の病床数は、200 床未満が 12 施設 (11. 0%)、200 床～499 床が 82 施設 (75. 2%) であった。看護職員数は 200 人未満が 45 施設 (41. 3%)、200 人～500 人未満が 53 施設 (48. 6%)、500 人以上が 11 施設 (10. 1%) であった。所属施設の担っている政策医療の役割（複数回答）は、重症心身障害が 48 施設 (43. 6%)、呼吸器疾患が 43 施設 (39. 1%)、がんが 40 施設 (36. 4%)、神経・筋疾患が 39 施設 (35. 5%) であった。

本学研修部を平成 27 年度に活用した施設は、61 施設 (54. 5%) であり、利用しない理由は、「遠隔であるため」が 41 施設 (80. 4%) と最も多かった。

看護部長が看護職員の教育に活用したい院外の短期研修は、認知症看護が 89 名 (80. 9%) と最も多く、患者の高齢化に伴いニーズが高いと考えられる。次いで看護管理・教育関係の課題に関するニーズ、フィジカルアセスメント、コミュニケーションスキルなどの全領域の基盤となる知識・技術に関するニーズが高かく、看護職員の継続教育のニーズとして重要であることが示された。

長期研修については、保健師助産師看護師実習指導者講習会が 80 名 (74. 1%)、認定看護師教育課程 64 名 (59. 3%) であった。認定看護師教育課程は、多い順に、認知症看護 25 名 (39. 7%)、摂食・嚥下障害看護 20 名 (31. 7%)、感染管理 20 名 (31. 7%) であった。

また、疾患・治療関連は、慢性呼吸器疾患看護、重症心身障害児(者)看護、がん化学療法看護、筋ジス・神経難病看護の順でニーズが高く、各施設の担っている政策医療分野における教育ニーズがあることが示された。今後、ニーズに沿った研修プログラムを開発する必要がある。

課題番号 : 27指1405
研究課題名 : 政策医療を担う医療機関の多施設ネットワーク形成とその活用による高効果・高効率な看護職員教育システムの開発—看護職員の能力向上による政策医療分野の看護均てん化推進に向けて—
主任研究者名 : 亀岡智美

分担研究者名 : 小澤三枝子
分担研究課題名 : 政策医療を担う医療機関の医療・看護の質向上に資する看護師長教育システムの開発—看護師長への調査による実態把握を通して—
研究協力者名 : 飯野京子・田村やよひ・水野正之・上國料美香・劔物祐子・木村弘江・原田久美子・大柴福子
キーワード : 看護師長、教育システム、医療の均てん化、政策医療、多施設ネットワーク

研究成果 :

I. 研究目的

この分担研究の目的は、政策医療を担う医療機関（国立高度専門医療研究センター（NC）・国立病院機構（NHO）・国立ハンセン病療養所（NHDS））の看護師長の管理上・学習上の課題を多角的に解明し、その課題の克服を目指した看護師長教育システムを開発することである。

II. 平成 28 年度の研究活動と成果

平成 27 年度に NC・NHO・NHDS の看護師長を対象に質問紙調査を実施した。調査票配布数は 1,534 部、回収数は 888 部（回収率は 57.9%）であった。そのデータを分析して、看護師長の管理上・学習上の課題や継続教育への意識を明らかにした。

- ・認定看護管理者の資格認定を「すでに受けている」者は 2%、「受けない」と回答した者は 22%、「受けなくてよい」61%、「その他」12%であった。
- ・認定看護管理者の資格認定を「受けない」と回答した者のうち 23%はすでに認定看護管理者教育課程の受講を開始しており、今後受講したいと回答したのは 60%であった。大学院にすでに進学している者は 3%、今後進学を希望する者は 8%であった。
- ・看護師長としての役割遂行に必要な知識・技術・態度 25 項目の学習について、「6. とても必要」（55.6%～19.7%）、「5. 必要」（54.6%～34.2%）との回答があり、両者をあわせると全項目において 7 割以上の者が学習ニーズを感じていた。認定看護管理者教育課程を受講していない者と、一部でも受講している者の学習ニーズ得点を比較すると、2 項目において受講者の学習ニーズが有意に高かった。なおこの調査には「学習ニーズアセスメントツール—看護師長用—」（舟島ら, 2015）を用いた。

得られた知見について、学会発表（2 件）を行い、その成果を公表した。

- 1)小澤三枝子、水野正之他. 認定看護管理者資格取得に向けた学習に対する看護師長の意識—政策医療を担う医療機関に焦点をあてて—. 第 70 回国立病院総合医学会, 沖縄, 11 月, 2016.
- 2)水野正之、小澤三枝子他. 看護師長の学習ニーズの現状—政策医療を担う医療機関に焦点を当てて—. 第 70 回国立病院総合医学会, 沖縄, 11 月, 2016.

III. 今後の課題

本研究は看護師長の管理上・学習上の課題を多角的に解明し、その課題の克服を目指した教育システムの開発を目指している。平成 29 年度には、本研究の調査・分析結果を統合した論文を作成し、国内学術誌に投稿、政策医療を担う医療機関の看護管理者と研究成果を共有する。

調査の結果、国立看護大学校研修部での研修実施に加え、多施設ネットワーク形成により、受講可能な時期に、必要な研修を、なるべく近くで受講できるように支援することの必要性が示唆された。最終年度は NC・NHO・NHDS で連携を深め、効果的・効率的に教育プログラムを活用できるような仕組みを検討し、多施設ネットワーク形成を推進する。

研究発表及び特許取得報告について

課題番号：27指1405

研究課題名：政策医療を担う医療機関の多施設ネットワーク形成とその活用による高効果・高効率な看護職員教育システムの開発－看護職員の能力向上による政策医療分野の看護均てん化推進に向けて－

主任研究者名：亀岡智美

論文発表

論文タイトル	著者	掲載誌	掲載号	年
政策医療を担う医療機関における看護部教育委員会の現状－組織運営と提供している研修に焦点を当てて－	亀岡智美 上國料美香 飯野京子他	国立看護大学校研究紀要	第14巻 第1号	2017年

学会発表

タイトル	発表者	学会名	場所	年月
看護職員を対象とする院内教育担当者の学習ニーズの現状－政策医療を担う医療機関に焦点を当てて－	亀岡智美 上國料美香 大柴福子他	第70回国立病院総合医学会	沖縄	2016年11月
看護職員を対象とする院内教育担当者の教育ニーズの現状－政策医療を担う医療機関に焦点を当てて－	上國料美香 亀岡智美 大柴福子他	第70回国立病院総合医学会	沖縄	2016年11月
看護職員教育として活用したい院外研修への要望－政策医療を担う医療機関の看護部長への調査を通して－	飯野京子 劔物祐子 木村弘江他	第70回国立病院総合医学会	沖縄	2016年11月
認定看護管理者資格取得に向けた学習に対する看護師長の意識－政策医療を担う医療機関に焦点をあてて－	小澤三枝子 水野正之 木村弘江他	第70回国立病院総合医学会	沖縄	2016年11月
看護師長の学習ニーズの現状－政策医療を担う医療機関に焦点を当てて－	水野正之 小澤三枝子 原田久美子他	第70回国立病院総合医学会	沖縄	2016年11月
政策医療を担う医療機関における看護部教育委員会の学習ニーズに関する特性	亀岡智美 上國料美香 大柴福子他	第14回国立病院看護研究学会学術集会	熊本	2016年12月

その他発表(雑誌、テレビ、ラジオ等)

タイトル	発表者	発表先	場所	年月日
該当なし				

特許取得状況について ※出願申請中のものは()記載のこと。

発明名称	登録番号	特許権者(申請者) (共願は全記載)	登録日(申請日)	出願国
該当なし				

※該当がない項目の欄には「該当なし」と記載のこと。

※主任研究者が班全員分の内容を記載のこと